

経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)によるピア・レビューについて

平成28年4月22日

資源エネルギー庁

1. 背景・概要

今般、最近の日本における高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する取組の信頼性について評価いただくため、諸外国における地層処分に関する知見を持つOECD/NEA(※1)へピア・レビューを依頼し、実施することとなった。

(※1)原子力施設の安全、放射性廃棄物管理等に関連した各国の規制方針・運用についての調和の促進、科学的・技術的情報の交換、国際研究開発事業の設立等を行う。1958年設立。日本は1972年加盟。加盟国30ヶ国(ニュージーランドを除くOECD加盟国)。

2. 時期

5月下旬(1週間程度)を予定(※2)。

(※2)資源エネルギー庁や地層処分技術WGメンバーとの議論を予定。

3. レビューチーム概要

地層処分技術やサイト選定に詳しい専門家及び OECD/NEA 事務局(放射線防護・廃棄物管理課)8名で構成予定。

4. レビュー内容

日本における高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する取組について、主に科学的有望地の提示に向けた取組について、国際レビューを行う。

- 日本における高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する取組について
(昨年5月に改定した基本方針の取組を中心とした取組状況等)
- 科学的有望地の要件・基準について
(地層処分技術 WG 中間整理等)